

海域火山の最近の活動について*

The Recent Activities of Submarine Volcanoes and Volcanic Islands

海上保安庁
Japan Coast Guard

前回（第140回火山噴火予知連絡会）に報告した以後（2018年2月6日から2018年6月14日）の活動状況は以下のとおりである。（調査位置は第1図参照）

南方諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
手石海丘	2018/3/3	海上保安庁	手石海丘付近に変色水域等の特異事象は認められなかった。
伊豆熱川	2018/3/3	海上保安庁	伊豆熱川の海岸線に幅200m、長さ100mで薄い褐色の変色水域が分布していた。
伊豆大島	2018/3/3	海上保安庁	伊豆大島北西岸の小口鼻と風早埼の間の海岸線に幅約100m、長さ約200mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第2図）。 三原山山頂火口内の北側内壁の噴気帯にごく弱い白色噴気を認めた。
新島	2018/3/3	海上保安庁	新島北部の若郷付近の海岸線に幅約100m、長さ約400mで薄い青白色の変色水域が分布していた。新島西岸の間々下浦付近の海岸線に幅約100m、長さ約800mで青白色の変色水域が分布していた。新島西岸の鼻戸埼から小浜浦にかけての海岸線に幅約200m、長さ約900mで青白色の変色水域が分布していた。西浦付近の海岸線に幅約400m、長さ約1,300mで青白色の変色水域が分布していた（第3図）。また、新島南端の神渡鼻から羽伏浦にかけての海岸線に幅約200m～600mで青白色の変色水域が分布していた。新島北東部の淡井浦の海岸線に幅約200m、長さ約600mで薄い青白色の変色水域が分布していた。
神津島	2018/3/3	海上保安庁	神津島北部の返浜に幅約300m、長さ約100mで薄い青白色の変色水域が分布していた。神津島南東側の多幸湾の海岸線に沿って2ヶ所に幅約100m、長さ約500mで薄い青白色の変色水域が分布していた（第4図）。 天上山山頂に噴気等の特異事象は認められなかった。
三宅島	2018/3/3	海上保安庁	三宅島北岸の大久保港付近の海岸線に幅約300m、長

* 2018年7月6日受付

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>さ約 600m、東岸のサタドー岬周辺に幅約 150m、長さ約 300m、三池浜付近の海岸線に幅約 100m、長さ約 200m、南岸のツル根岬の西側に幅 100m、長さ約 150m、新鼻東側の海岸線に幅約 100m、長さ約 300m、西岸の阿古小中学校跡付近の海岸線に幅約 100m、長さ約 200m、大船戸湾の伊ヶ谷港付近の海岸線に幅約 150m、長さ約 500mでごく薄い青白色の変色水域が分布していた（第5図～第7図）。</p> <p>雄山山頂の陥没火口南側に白色噴気を認めた。</p> <p>熱計測の結果、雄山山頂陥没火口南側の噴気帯に高温域が分布していた。</p>
青ヶ島	2018/3/3	海上保安庁	<p>青ヶ島北端の黒埼付近の海岸線に幅約 100m、長さ約 500mのごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。東岸の大千代港付近の海岸線に幅約 150m、長さ約 150m、南端の金太付近の海岸線に幅約 150m、長さ約 500mのごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第8図）。西岸の黒根付近の海岸線に幅約 200m、長さ約 800mのごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。</p>
明神礁	2018/3/3	海上保安庁	<p>変色水、気泡、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p> <p>熱計測による海水面の温度異常は認められなかった。</p>
明神礁	2018/3/19	第三管区海上保安本部	<p>変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p>
明神礁	2018/4/10	第三管区海上保安本部	<p>変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p>
明神礁	2018/4/19	第三管区海上保安本部	<p>変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p>
明神礁	2018/5/28	第三管区海上保安本部	<p>変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p>
明神礁	2018/6/14	海上保安庁	<p>変色水、気泡、海水面の低温部、浮遊物等の特異事象は認められなかった。</p>
伊豆鳥島	2018/3/3	海上保安庁	<p>硫黄山火口内の噴気帯から白色噴気の放出が認められた。</p> <p>熱計測の結果、硫黄山火口の噴気帯に高温域が分布していた。</p> <p>伊豆鳥島北岸の船見岬付近の海岸線に幅約 100m、長さ約 200mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。伊豆鳥島東岸の涙ヶ浜付近の海岸線2ヶ所に幅約 100m、</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			長さ約 100mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。伊豆鳥島南岸の三ツ石付近～燕埵間の海岸線に幅約 150m、長さ約 500mで薄い褐色の変色水域が分布していた（第9図）。また、伊豆鳥島南西岸の三ツ石付近の海岸線に幅約 100m、長さ約 100mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
西之島	2018/ 3 /19	第三管区海上保安本部	火砕丘中央の火口内壁東側の噴気帯から白色噴気が高さ数m上がっていた。火口内や火口縁、火砕丘南側斜面には硫黄の析出によると思われる黄色い領域が分布していた（第10図）。 西之島周辺に幅約 100～300mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第11、12図）。
西之島	2018/ 4 /19	第三管区海上保安本部	天候不良のため、西之島南東岸のみの調査を実施したところ、変色水域及び顕著な温度異常は認められなかった。 なお、火砕丘中央の火口は低雲高のため、状況を確認できなかった。
西之島	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
西之島	2018/ 5 /27	第三管区海上保安本部	火砕丘中央の火口全体から白色噴気が高さ約 20mまで上がっていた。3月 19日の観測時と比較して白色噴気の量が多いが、付近天候が雨であった影響と思われる（第13図）。 火砕丘中央の火口内壁及び火口縁北西側の凹地から斜面、麓にかけて、依然として周囲よりも高温域が存在する。 西之島沿岸に顕著な変色水及び温度異常は認められなかった。
西之島	2018/ 6 /14	海上保安庁	火砕丘中央の火口内壁東側の噴気帯で複数の白色噴気が認められ、時折噴気が火口縁を越えることがあった。 島全周で変色水域が認められ、特に北～北西側で黄褐色の変色水域が幅 200-300mで分布していた（第14図）。 火砕丘周辺に周囲よりも高温域が認められたが、沿岸部には認められなかった（第15図）。
ベヨネース列岩	2018/ 3 / 3	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
須美寿島	2018/ 3 / 3	海上保安庁	須美寿島を西側より調査したところ、須美寿島西岸及び東小島周辺に変色水域等の特異事象は認められな

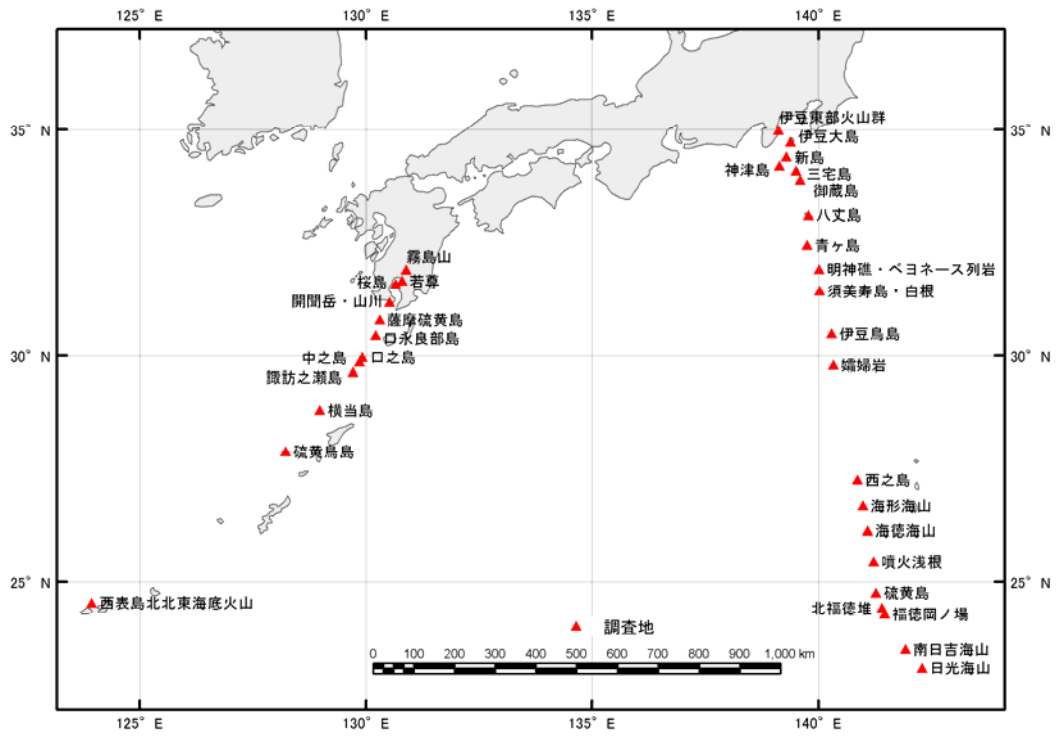
場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			った。
海形海山	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2018/ 1 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2018/ 2 /24	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
海徳海山	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
福徳岡ノ場	2018/ 1 /27	海上自衛隊	直径約 600m で黄緑色の変色水が分布していた。
福徳岡ノ場	2018/ 2 /24	海上自衛隊	長さ約 1,000m、幅約 500m で薄い緑色の変色水が分布していた。
福徳岡ノ場	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2018/ 1 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2018/ 2 /24	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
南日吉海山	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2018/ 1 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2018/ 2 /24	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。
日光海山	2018/ 4 /27	海上自衛隊	変色水域等の特異事象なし。

南西諸島方面

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
桜島	2018/ 3 /13	海上保安庁	南岳火口からの灰色噴煙の放出を認めた。噴煙は北東方向に流されていた。 噴煙の風下にあたるため、桜島の北側及び東側は調査できなかった。
薩摩硫黄島	2018/ 3 /12	海上保安庁	10:05～10:26 の調査では、硫黄岳火口から連続的に白色噴気が放出されていた（第 16 図）。南東側斜面、東側斜面、北側斜面から白色噴気の放出が確認された（第 16 図）。 平家城跡付近から硫黄岳東岸、南岸を経て東温泉までの海岸線に沿って幅 200～500m で青白色から黄褐色の変色水域が分布していた（第 16 図）。また、硫黄島港に幅約 400m、長さ約 300m で、稲村岳南西岸の海岸線に幅約 300m、長さ約 200m、南東岸の海岸線に幅約 200m、長さ約 200m で茶褐色の変色水域が、稲村岳南岸の海岸線の 2 カ所に西からそれぞれ幅約 50m、長さ約 100m と幅約 300m、長さ約 200m で薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第 17 図）。 熱計測の結果、硫黄岳火口付近や硫黄岳南東側の噴気が見られる箇所に高温部が分布していた。 昭和硫黄島周辺にごく薄い黄緑色の変色水域が分布

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			<p>していた（第18図）。</p> <p>なお、図中の黒い浮遊物は漂着油であると考えられる。</p> <p>15:23～15:27の調査では、硫黄岳火口から連続的に白色噴気が放出され、南東側斜面、東側斜面、北側斜面から白色噴気の放出が確認された。午前実施した観測と比較して、特段変化は認められなかった。</p> <p>平家城跡付近から硫黄岳東岸を経て、南岸までの海岸線に沿って幅 200～500mで青白色から黄褐色の変色水域が分布していた（第19図）。また、硫黄島港から稲村岳南東岸の海岸線に沿って長さ 300～400mで茶褐色の変色水域が分布していた。</p> <p>東温泉付近の海岸線から幅約 100m、長さ約 200mで黄白色の変色水域が分布していた。</p> <p>なお、雲のため薩摩硫黄島北岸は調査できなかった。</p>
口永良部島	2018/3/12	海上保安庁	<p>新岳火口及び新岳火口西側の噴気帯から白色噴気の放出を認めた。なお、古岳は雲のため確認できなかった。</p> <p>熱計測の結果、新岳火口内南西側に高温部が分布していた。</p> <p>口永良部漁港内の向江浜前面海面に幅約 1,100m、長さ約 300mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた（第20図）。また、ニシマザキ南方に約 1,000mの海岸線付近に幅約 600m、長さ約 600mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。</p>
口之島	2018/3/12	海上保安庁	<p>燃岳山頂にごく弱い白色噴気を認めた（第21図）。</p> <p>タナギ山西側の立神から鎌倉崎の約 800m南方まで海岸線に沿って長さ 100～400mの長さで薄い黄緑色から薄い黄褐色の変色水域が分布していた。タナギ山南側の海岸線に沿って幅約 50m、長さ約 800mで薄い黄褐色の変色水域が、その西方に幅約 100m、長さ約 200mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。燃岳南西側の海岸線に幅約 200m、長さ約 50mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。</p>
中之島	2018/3/12	海上保安庁	<p>御岳火口内及び御岳北東斜面噴気帯の3ヶ所にそれぞれ白色噴気の放出を認めた。</p>
諏訪之瀬島	2018/3/12	海上保安庁	<p>御岳火口から白色噴気の放出を認めた（第22図）。</p> <p>諏訪之瀬島東岸の作地鼻付近に幅約 200m、長さ約 300mで薄い黄緑色から薄い褐色の、その北北東約 1,000m</p>

場 所	年 月 日	調 査 機 関 等	活 動 状 況
			の箇所幅約400m、長さ約200mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。また、諏訪之瀬島北東の富立岳南東岸に幅約500m、長さ約200mでごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
上ノ根島	2018/3/12	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
横当島	2018/3/12	海上保安庁	東峰の火口には噴気等の放出は認められなかった。 東峰と西峰の接合部南岸の海岸線に沿って幅約1,000m、長さ100~200mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた(第23図)。東峰東岸の2箇所に北からそれぞれ幅約200m、長さ約100mで褐色の変色水域が、幅約200m、長さ約100mで薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
硫黄島	2018/3/10	海上保安庁	硫黄岳火口内及びグスク火口壁北側の噴気孔に白色噴気の放出を認めた。 熱計測の結果、硫黄岳火口内の噴気帯に高温部が分布していた。 硫黄島西側の海岸線に沿って幅約1,200m、長さ約100mで薄い黄緑色の変色水域が、南側の海岸線に幅約100m、長さ約250mで帯状のごく薄い黄緑色の変色水域が分布していた。
西表島北北東海底火山	2018/2/20	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/3/11	海上保安庁	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/4/23	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/5/24	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。
西表島北北東海底火山	2018/6/8	第十一管区 海上保安本部	変色水域等の特異事象なし。



第1図 海域火山位置図

Fig.1. Location map of submarine volcanoes and volcanic islands.



第2図 伊豆大島 小口鼻付近の変色水域
2018年3月3日 11:30 撮影

Fig.2. Discolored water on the north coast of Izu-Oshima.



第3図 新島 西浦付近の変色水域
2018年3月3日 11:55 撮影

Fig.3. Discolored water on the south coast of Niijima.



第4図 神津島 多幸湾の変色水域
2018年3月3日 12:07 撮影

Fig.4. Discolored water in Tako Bay, Kozushima.



第5図 三宅島 大久保港付近の変色水域
2018年3月3日 12:17 撮影

Fig.5. Discolored water on the north coast of Miyakejima.



第6図 三宅島 サタド岬周辺の変色水域
2018年3月3日 12:20 撮影

Fig.6. Discolored water on the east coast of Miyakejima.



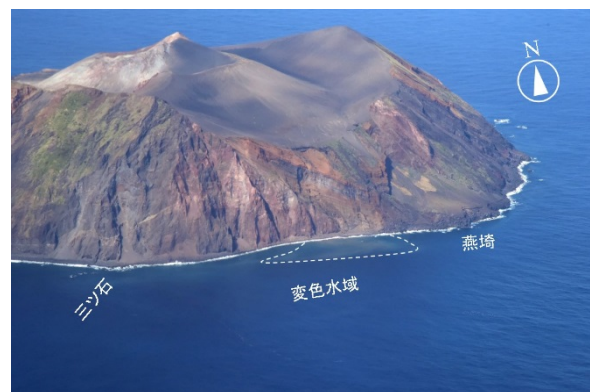
第7図 三宅島 大船戸湾 伊ヶ谷付近の変色水域
2018年3月3日 12:29 撮影

Fig.7. Discolored water on the west coast of Miyakejima.



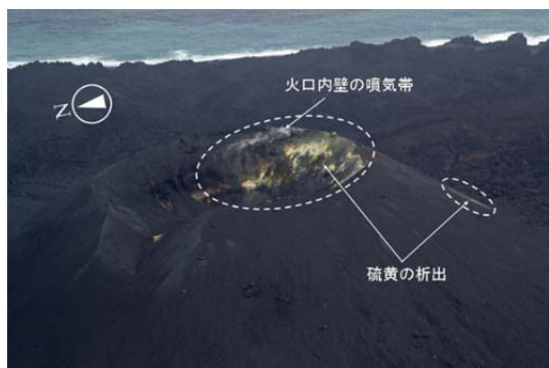
第8図 青ヶ島 大千代港、金太付近の変色水域
2018年3月3日 13:03 撮影

Fig.8. Discolored water of Aogashima.



第9図 伊豆鳥島 燕埼～三ツ石間の変色水域
2018年3月3日 13:58 撮影

Fig.9. Discolored water on the south coast of Izu-Torishima.



第10図 西之島 火口内壁の噴気帯と硫黄の析出
2018年3月19日 13:19撮影

Fig.10. Fumaroles in the crater of Nishinoshima.



第11図 西之島の変色水域
2018年3月19日 13:22撮影

Fig.11. Discolored water around Nishinoshima.



第12図 西之島東岸～南岸の変色水域
2018年3月19日 13:21撮影

Fig.12. Discolored water on the east to south coast of Nishinoshima.



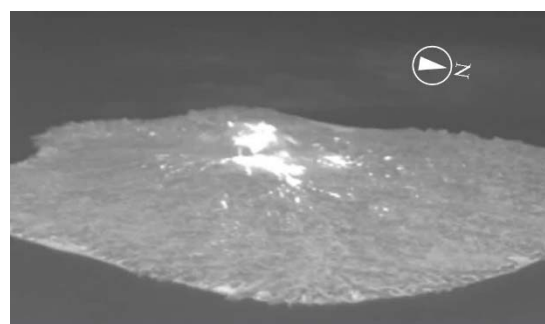
第13図 西之島 火砕丘中央からの白色噴気
2018年5月27日 13:12撮影

Fig.13. Fumarolic gas from the crater of Nishinoshima.



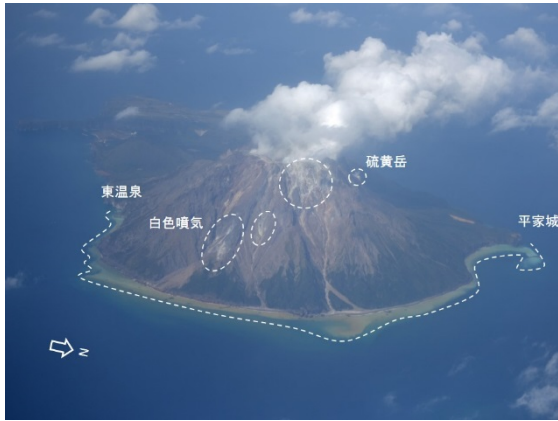
第14図 西之島 北西の変色水域
2018年6月14日 14:03撮影

Fig.14. Discolored water on the northwest coast of Nishinoshima.

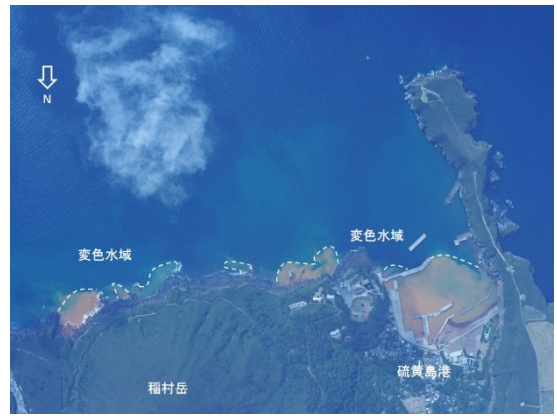


第15図 西之島 熱画像(全景)
2018年6月14日 14:11撮影

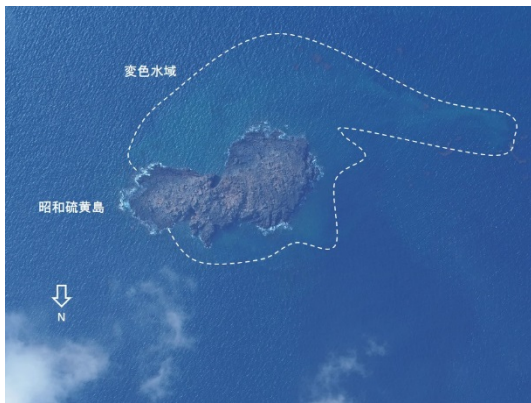
Fig.15. Infrared image of Nishinoshima.



第16図 薩摩硫黄島 硫黄岳全景と変色水域
2018年3月12日 10:04 撮影
Fig.16. Discolored water around Satsuma-Iojima.



第17図 薩摩硫黄島 南岸の変色水域
2018年3月12日 10:25 撮影
Fig.17. Discolored water on the south coast of Satsuma-Iojima.



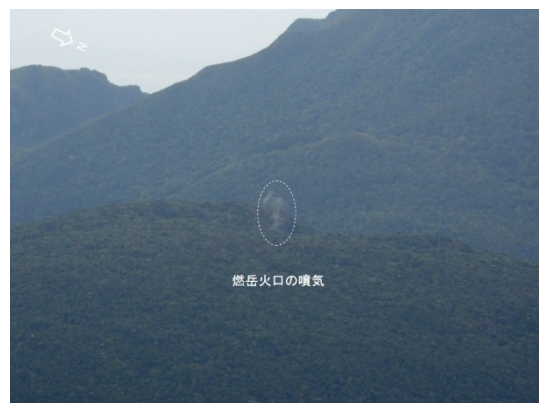
第18図 昭和硫黄島 変色水域
2018年3月12日 10:05 撮影
Fig.18. Discolored water around Syowa-Iojima.



第19図 薩摩硫黄島 硫黄岳北東側の変色水域
2018年3月12日 15:23 撮影
Fig.19. Discolored water on the northeast coast of Satsuma-Iojima.



第20図 口永良部島 口永良部漁港内の変色水域
2018年3月12日 15:02 撮影
Fig20. Discolored water in Kuchierabu-gyoko.

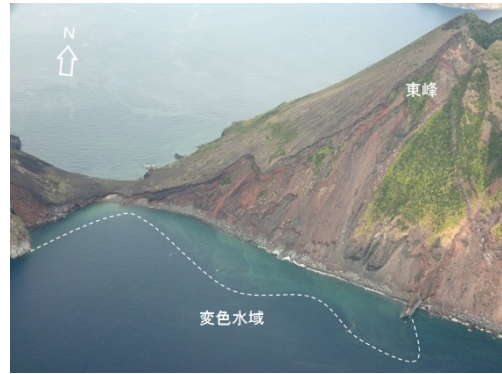


第21図 口之島 燃岳山頂の噴気
2018年3月12日 14:43 撮影
Fig21. Fumarolic gas from the crater of Moe-take, Kuchinoshima.



第22図 諏訪瀬之島 御岳火口
2018年3月12日 13:44 撮影

Fig22. Fumarolic gas from the crater of O-take crater,
Suwanosejima.



第23図 横当島 西峰と東峰の接合部の変色水域
2018年3月12日 12:52 撮影

Fig.23. Discolored water of Yokotejima.